別紙

# 龍ケ崎市指定金融機関の指定に係る企画提案書作成要領

| No. | 項　目 | 作成時の留意点 | 審査の視点 |
|---|---|---|---|
| 1 | 経営・業務状況の指標 | 経営・業務状況の指標については、指定金融機関を受託しようとする銀行単体情報、連結情報並びに親会社の情報を明示すること。 | 財務の健全性・信頼性 |
| 2 | 指定金融機関業務に対する考え方 | 指定金融機関業務に対する考え方や収納代理金融機関との関係性の構築などについて具体的に示す。 | 重要性の理解 |
| 3 | 指定金融機関業務の実施体制 | 公金の取扱いに携わる部門等の組織体制と機能について、組織図等を添えて具体的に示す。 | 支店に留まらない公金取扱体制の確立状況 |
| 4 | 派出業務に従事する職員の派遣 | 派出業務に従事する予定人員及び従事者が有する資格や経験年数等を示す。 | とくに繁忙期における十分な人員配置 |
| 5 | 市が指定する出納業務への対応 | 指定金融機関業務要件確認書（様式第８号）に記載された必須事項等への対応の可否を記入すること。龍ケ崎市の収納・支払業務に対する考え方を示す。 | 市の収納・支払業務の実情に即した対応の可能性 |
| 6 | ＥＢシステムへの対応 | 本市が行う公金取扱業務（照会機能、総合振込、給与振込等）への法人用ネットバンキングシステムの提供やサポート体制についての考え方を示す。 | 信頼性や機能の充実性 |
| 7 | セキュリティ・リスク管理体制 | 個人情報保護やデータ管理の基本方針や遵守体制等を具体的に示す。公開している社内規定はあるか。情報セキュリティ認証を取得しているか。 | リスク管理体制の確立 |
| 8 | 指定金融機関としての事業継続計画の策定等（ＢＣＰの整備状況） | 指定金融機関業務に関して、災害発生から復旧に至るまでの対応等をまとめた事業継続計画の策定状況を示す。（一般社団法人全国銀行協会のガイドラインに沿った計画の提示） | 事業継続計画の的確性 |
| 9 | 地方公営企業法に基づく下水道事業、馴馬財産区の会計取扱い | 下水道事業、馴馬財産区に関する会計事務の取扱いについて示す。 | 対応の可能性 |
| 10 | 市の資金調達や資金運用への対応 | 市の資金調達時の借入利率や市の基金等の預入利率などに関する優遇策についての考え方を示す。 | 利率に係る優遇条件の提示等 |
| 11 | 龍ケ崎市内、龍ケ崎市役所敷地内へのＡＴＭ設置 | ＡＴＭ設置に関する現況並びに考え方を示す。 | 新規設置・設置継続の状況 |
| 12 | 地域社会への貢献等 | 今後の地域への貢献についての考え方を示す。 | 地域貢献の実績や今後の貢献のあり方 |
| 13 | 指定金融機関業務の効率化の提案 | 地方自治法等に則った、また市として省くことのできない事務を把握したうえでの効率化提案を示す。 | 提案の妥当性・実際の出納事務への適合性 |

注１　提案書作成にあたっては、上記の項目を必須とすること。
　２　正確かつ簡潔な内容とし、実現が見通せない過大なものとならないように留意すること。
　３　内容は、契約期間である１年間を見据えたものとすること。